

更埴教育会だより

第2号 令和6年12月
文責 教育会あり方検討委員会

このおたよりは、全職員に配付しています。興味がわいた方、いつでも会員募集中です！

教育を語る会(7/29)

今年度の「更埴教育を語る会」は、『語ろう 教育の今と未来』というテーマのもと、「語り合い」(分散会)の形式で行われました。「分散会1」では、『子どもたちと「ともに生きる」「ともに学ぶ」「ともに成長する」教師とは』について成功や失敗体験から語り合いました。「分散会2」では、『これからの教育で大切にしたいこと』を、アイスクリームを食べながらリラックスした雰囲気の中、語り合いました。2つの分散会を通して、広く多様な考えに触れ、自分の教師観をより深く見つめ直す場となりました。普段は同じ郡内の学校に勤務していても、じっくり語り合う機会は少ないので、参加者にとって大変有意義な時間となりました。



よさや魅力発見！

分散会のテーマも毎年工夫して設定されていて、語りやすく、じっくり話すことができるようになっています。



広く多様な考えに触れ、自分の教師観をより深く見つめ直す場になっています。



アイスクリームの復活で、さらに和やかな雰囲気で語りあえます。

教育を語る会に参加された先生方の声

年代や校種を越えて、自らの実践を語り合うことで、自分の拠り所としているものは何なのかを確かめたり、未来の教育について大切にしたいことを考え合ったりと、大変貴重な時間となりました。先生方との対話とつながりの大切さを感じました。

さまざまな年代や担当学年の先生方と意見交換ができ、とても有意義な時間となりました。抱えている悩みを共有し合い、立場が違っても悩みが共通している部分もありました。“自分一人じゃないんだ”という安心感をもてたことはとても大きかったです。



普段は、なかなか教育について自分の思いを語ったり、他の先生方がどんな思いで子どもと向き合っているのかを聞いたりする機会がないので、この語る会でいろいろな先生方の思いに触れることができ、とても貴重な時間になりました。「これからはがんばっていこう！」というエネルギーをいただきました。

教育研究集会 (9/7)

今年度 66 回目となる「教育研究集会」は千曲市立屋代中学校で開催されました。朝早くから地域の方も含めた大勢の参加者が集まりました。

8時半からの放送による開会式から始まった今回の教育研究集会は、それぞれ40分で行われるセッション1とセッション2の分科会と、シンガーソングライターの清水まなぶ先生による講演会が行われました。

分科会では、先輩や現場で共に働いている経験豊かな先生方から、現代の教育の課題や明日から活用できる授業実践などを伝えていただきました。また、清水先生による講演会では、ご自身の御祖父様の戦争体験や、それをきっかけに始まった県内全市町村の戦争体験談の聞き取り活動「回想プロジェクト」について、歌を交えて講演していただきました。

直接参加者同士で話ができることで、活発な意見交換がおこなわれた教育研究集会となりました。



よさや魅力発見！

地域の方など教員以外の立場の方と意見を交わし合う
時間もあり、有意義な会となりました。



講演会は、自己の視野を広げるうえで
よい機会となっています。

例年、会員からの希望を聞きながら、
講師が決め出されています。

教育研究集会に参加された先生方の声

分科会Ⅱ－G 「通常級・支援学級における授業（合理的配慮）」

インクルーシブ教育について、授業で大切にするポイントなどについて教えていただきました。参加者でグループになって考え合う時間もありました。そこには校種も専門もさまざまな先生方、また PTA の方も参加されていて、いろいろな視点からの考えが出され、有意義な時間になりました。

分科会Ⅲ－M 「フレッシュヨガ講座～身も心も癒しましょう～」

AKI 先生の柔らかい声と雰囲気のもと、体も心もリフレッシュできました。すごく癒されたひとときを過ごすことができました。また参加したいと思っているので、来年もぜひこのような講座をお願いしたいです。

「清水まなぶ先生の講演会をお聞きして」

講演会の朝方、95歳の義理の祖父が亡くなりました。樺太生まれの祖父は、よく戦争の話を聞かせてくれました。そんな日に清水先生の歌声を聞くことができ、改めて戦争の悲惨さを感じ、二度と繰り返してはならないと感じたと同時に、後世にも伝えていくことの重要性を痛感しました。

教育研究会・研究推進委員会の活動の様子

全ての教育研究会は紹介できないので、3つの研究会と1つの委員会について紹介します。

社会科教育研究会 事務局の源関昭博先生より

今年度は信州社研の全県大会が更埴地区（五加小・戸倉上山田中）で行われました。当日は、約150名の全県からの参加者が集まり、生徒の学びの姿をもとに研究会を進めました。特に、全体研究主任の町田祐介先生（更埴西中）を中心に、小学校研究主任の児玉典久先生（五加小）、授業者の島田桃子先生（五加小）、五加小学校の研究部会と教職員の皆様、中学校の授業者の角田ひかり先生、戸上中学校の教職員の皆様には、準備の段階から本当にお世話になったことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

理科教育研究会 事務局の横前雅史先生より

11月1日（金）、伝統ある第51回信州理科教育研究大会が、今年度はここ更埴の地で開催されました。郡内からは、坂城町教育長 塚田常昭様、千曲市教育長 小松信美様をご来賓としてお迎えし、全県から200名を超える先生方にご参加いただきました。南条小学校6年生、坂城中学校1年生のみなさんに、「地球の欠片」をテーマとした探究的で協働的な授業を提供していただきました。昨年からの研究と運営の両面で準備を行い、大会は成功を収め、より一層、会員の団結力が深まりました。

里山登山研究会 事務局の蟹澤和哉先生より

本研究会は、毎年多くの方々に支えていただき、とてもアットホームな雰囲気です。本研究会の強みは、
①コミュニケーションしながら里山登山（様々な立場の方々と会話を楽しみながらの登山）
②ほどよい運動とおいしいティータイム&おやつ（家族連れでも無理ない登山とおいしいおやつ）
③支えてくださる先輩方の存在（登山に精通した先輩方の支え）
近隣の里山の自然を感じ、幅広い年代の仲間と語らう楽しみを共有できる素敵な研究会です。

教育会 HP 推進委員会 委員長の石井将之先生より

教育会ホームページ推進委員会では、これまで3回委員会を開催しました。初回の委員会では、委員全体で、ホームページの更新方法を確認、教育会長先生の挨拶の更新、今年度の更新内容の計画を話し合いました。第2回の委員会では、教育会使用規定や教育会の年間計画、研究委員会の年間計画等を更新。第3回11月の委員会では、教育会だよりの更新を行い、今後のホームページの内容について話し合いました。会員の先生方の希望に添えるホームページにしていけるよう内容の充実に努めていきたいと考えています。



よさや魅力発見！



里山登山研究会では、参加者も多く、アットホームな雰囲気です。自然を満喫しています。

社会科・理科教育研究会では、本年度県大会の開催担当として、何度も会合を開き研究を進め、更埴の取組を全県に発信していました。活動を通して更埴教育会の教育研究会の団結力が深まりました！！



HP推進委員会
教育会だよりの更新を行い、今後のホームページの内容について話し合い、広報活動を充実させています。



全郡研究の経緯、昨年度の様子や来年度の開催校の紹介

現在の全郡研究会のスタイルは、令和元年度に教育を語る会や教育会あり方検討委員会で、全郡研究会のあり方について検討され、2年に1度、11月の平日の午後に一斉開催で、14:00～16:40の時間内で会場校が設定と決まりました。

～令和元年度の答申より～

【実施校（会場校）】

- ①実施校（会場校）を増やすことで、1校あたりの参加人数を少なくし、研修内容の自由度を高める。
- ②下の5つの中学校区から2校ずつ、計10校で開催する。

- ・更埴西中学校区（八幡小、治田小、更埴西中、稲荷山養護）
- ・屋代中学校区（屋代小、東小、屋代中、屋代高附属中）
- ・埴生中学校区（埴生小、埴生中、県立歴史館）
- ・戸上中学校区（戸倉小、更級小、五加小、上山田小、戸倉上山田中）
- ・坂城中学校区（南条小、坂城小、村上小、坂城中）



令和5年度 埴生中学校区の全郡の様子

- ・各校4年に1度担当する。
- ・戸上地区は、2校担当の年と3校担当の年があるようにする。
- ・県立歴史館は、学校との連携事業として、毎回ワークショップや臨地講習をお願いする。
- ・当該年度の指定研究校等との重なりについては最大限配慮して決定する。会場校の事情により中学校区内で順番の入れ替えも行ってもよいこととする。
- ・屋代高附属中と稲荷山養護学校の会員の全郡研究会の研修参加は、学校事情に合わせた参加とする。また、会場校の場合は、学校事情に合わせた負担のない形での授業公開をお願いする。

【研修内容】

○会場校（推進校）が、各校で実施したい研修を企画し、運営を行う。

＊研修の内容の例としては、以下のようなものが考えられる。

- ①地域の指導者（教職員を含む）を招き、教職員としての資質向上を図るための実技講習や臨地講習を行う。
- ②教職員としての教科指導力の向上や授業改善を図るための授業公開や指導者（教職員を含む）を招いてのワークショップを行う。
- ③各校の特色を公開する授業や行事の公開



【2回目、令和5年度を実施してみた感想】

令和5年度の全郡研究会は、テーマを『自ら考え、自ら学び、主体的に取り組む子どもの育成を目指した教職員の学び合いのあり方』～特色ある学校の創造とこれからの教育実践に向けて～とし、中学校区ごとに期日を設定して実施しました。各会場校やその地域の特色を生かし、充実した研修の場にすることができました。

（令和5年度 全郡研究推進委員会委員長 山野井美和先生）



よさや魅力発見！

隔年で開催し、担当学校や地域の特色をいかした研修の場が用意されています。



前は、フィールドワークやフラワーアレンジメントや研究授業など・・・興味のわく色々な研修・講座がありました。



他の学校の先生方と学び合いができ、大切なコミュニケーションの場になっています。

～来年度 3回目 開催予定担当校の紹介～

- ・更埴西中学校区（治田小、更埴西中）
- ・屋代中学校区（屋代小、屋代中）
- ・埴生中学校区（埴生中、県立歴史館）
- ・戸上中学校区（更級小、上山田小）
- ・坂城中学校区（村上小、坂城中）

＊令和7年度は、11月に一斉開催する方向で、企画・運営を行っていく